

広報あやべ 第746号

ねつと 12

平成29(2017)年



今月の
表紙

みんな笑顔でいただきます

来年度に小学生になる綾部幼稚園と綾部保育園の園児が、学校給食を体験しました。配膳や食べ方、片付けについて学んだ後、みんなで元気に“いただきます！”。入学式が楽しみですね。

11月28日、上野町の綾部小学校で—。

主な内容

イスラエルを訪問
年末年始の主な催し
特殊詐欺の被害防止
原子力災害に備え訓練実施

2
4
5
6

認定看護師が答えます 市立病院で相談ポストを設置



青野町の市立病院は12月1日から「認定看護師お気軽相談窓口」を開設。各分野において専門知識を持った認定看護師が、皆さんの相談に応じます。受診前や療養中の不安、困り事など、気軽にご相談ください。患者本人だけでなく、その家族の相談も受け付けます。

相談方法／備え付けの相談用紙に記入し、同病院1階待合ホール中庭側に設置の「相談ポスト」へ。
回答方法／担当の認定看護師がそれぞれの活動日に、相談者の希望により電話かメール、面談で対応。

相談料／無料

活動日	相談分野	例え…こんなことが相談できます
月・水曜日	糖尿病看護	糖尿病のこと、足のケア
火曜日	がん性疼痛看護	がんによる体と心の痛み
水曜日	緩和ケア看護	がんによる体のだるさ、不安、経済的な配慮
	栄養食嚥下障害看護	食べ物を飲み込む機能、食事の介助方法
木曜日午前	皮膚・排泄ケア	床ずれや尿もれ、皮膚のトラブル
金曜日	認知症看護	もの忘れ、認知症の介護
随時	感染管理	インフルエンザなどの感染予防、対策
	がん化学療法看護	抗がん剤治療

問い合わせ／市立病院☎(43)0123

本市の定住促進事業 先駆的な「綾部スタイル」が評価



本市の空き家を活用した定住促進の取り組みが、都市みらい推進機構の土地活用モデル大賞で審査委員長賞を受賞しました。本市の△商工会議所や地元宅建業者と連携した不動産の取り引き△自治会連合会と協働で行う空き家の掘り起こしーなど、先駆的な「綾部スタイル」の取り組みが評価されました。10月30日には東京都内で表彰式が行われ、賞状と盾=写真=が授与されました。



エルサレムには嘆きの壁（ユダヤ教）、聖墳墓教会（キリスト教）、岩のドーム（イスラム）などの3つの一神教の聖地が隣接



本年7月に来綾したルツ・カハノフ前駐日イスラエル大使（左奥）と再会

キーワード

エルサレム市との友好宣言

両市は「世界の恒久平和の実現」を共通目的として、平成12年に友好を宣言。綾部駅北口には、友好宣言を記念して建立されたアンネ・フランク像があります。

中東和平プロジェクト

紛争で親族を亡くすなどしたイスラエルとパレスチナ双方の青少年を日本に招き、2人1組でのホームステイなど、交流を通じて平和への認識を深めてもらう取り組み。平成15年の綾部市の開催以降、10回を数え、延べ107人（引率18人含む）を招致。

イスラエルを訪問 平和への思い新たに

本市の友好都市・エルサレム市のあるイスラエルを山崎善也市長らが11月18~24日の日程で訪問。エルサレム市長やイスラエル紛争遺族会の関係者らと面会し、遠く離れていても平和を願う私たちの思いを直接伝えました。



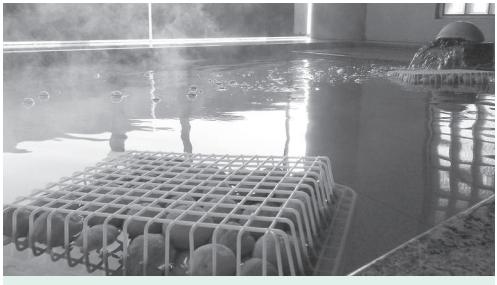
ニール・バルカット市長と記念品を交換

ニール・バルカット市長は、パレスチナ自治区のベイト・ジャラ市内でイスラエル・パレスチナ紛争遺族会の関係者らと面会。昨年11月した中東和平プロジェクトで来日したパレスチナの学生、サラム・アブファラさんは「プロジェクトへの参加は私にとって大きな経験になつている」と話し、1年ぶりの再会を喜びました。また、同遺族会幹部のエフラット・タルさんは「これからも青年の派遣を続けたい」と述べ、プロジェクトの継続に向け、互いに協力していくことを確認しました。

来日した学生と再会



和歌山県高野町の中東和平プロジェクトで昨年、来日したサラム・アブファラさん



あやべ温泉。ゆず湯

12月22日(金)～26日(火)

※25日の定休日除く

あやべ温泉では、22日から26日まで、冬至にちなんでゆず湯を提供。詳しくは同温泉☎(55)0262へ。

FMいかる 紅白歌合戦

12月28日(木)

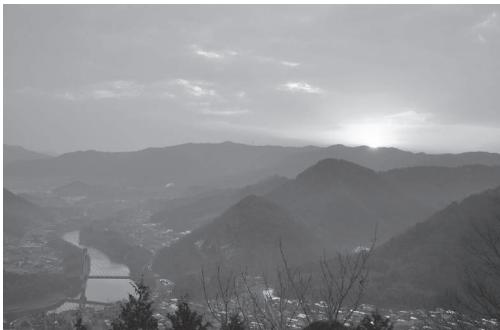


FMいかるでは28日午前10時から午後6時まで年末特別番組を放送。さまざまな世代が楽しめる楽曲50曲を男女対抗で紹介。紅白の勝敗予想の投票をするだけで、旅行宿泊券など豪華賞品が抽選で当たります。詳しくはFMいかる☎(42)9988へ。

天文館。 正月のミニ飾り

12月23日(土・祝)・24日(日)

天文館では23、24日の2日間、わらや竹などを使ったしめ縄飾りや小さな門松が作れます。午前10時から午後4時までの間はいつでも受け付け。詳しくは天文館☎(42)8080へ。



元旦寺山山頂 国旗掲揚式

1月1日(月・祝)

元旦は、午前7時から日本ボイスカウト綾部第2団が藤山(寺山)で国旗と市旗、世界連邦旗を掲揚。市民憲章の唱和なども行われ、天気が良ければ山頂から初日の出が見られます。

年末年始の 主な催し

年末年始の主な催しと各施設の休館・休業日をお知らせします。



休業・休館	12月							1月								
	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5				
	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金				
市役所	(開)			(休) 一部業務は8:30～17:00、日直が受け付け。水道は緊急時に応				(開)								
クリーンセンター	(開)			(開) 年末特別収集あり (本紙11月号参照)				(休)				(開)				
斎場	(開)							(開) 葬儀のみ	(休) 利用予約のみ 13:00～17:00受け付け			(開)				
図書館	(休)	(開)						(休)								
天文館	(休)	(開)						(休)								
資料館	(開)							(休)								
あいセンター	(開)							(休)								
上林いきいきセンター	(開)			(休) バス待合室は使用可能				(開)								
保健福祉センター	(開)								(開)							
市立病院	(開)			(休) 救急対応のみ					(開)							
あやべ健康プラザ	(開)								(開)	(休)						
観光案内所	(開)				(開) 待合室のみ				(開)							
あやべ温泉	(休)						(開)									
あやべ特産館	(開)	(休)	(開)					(休)								

安全・安心の まちづくり綾部市民大会

特殊詐欺の被害防止を呼び掛け

不審な電話は通報を

大会では、綾部警察署の渡邊和彦生活安全課長と桐村智明刑事課長が講演。渡邊課長は10年前と比べ犯罪の件数が約60%減る中、犯罪等への不安を感じる人の割合はあまり変わらないことを紹介。「安

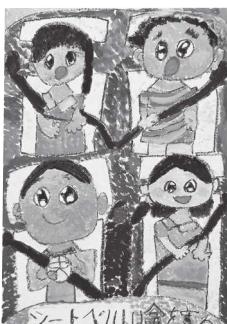
心感を高めるには警察によるパトロールや検挙等に加え、近年性能が向上している防犯カメラ等の機器の設置が必要】

こと」を説明。「自分はだまさ
れなくとも他の被害を防ぐた
め、不審な電話があればすぐニ
通報を――」などと訴えました。

ポスター・コンクール表彰式

同会場では、市内小学校の高学年を対象とした「第4回交通安全啓発ポスター・コンクール」表彰式も開催。今年は36点の応募作品の中から、8点の入賞作品が選ばれました。最優秀賞以外の受賞者は

優秀賞（綾部交通）



最優秀作品

笛波那奈（豊里小4年）

【優秀賞】(綾部交通安全協会) 会長賞】仲江そらの(豊里小4年) 【優秀賞】西口稜真(志賀小4年) 【佳作】岩澤茄鈴(綾部小6年) ▽畠野福太(志賀小4年) ▽村上蒼馬(豊里小4年) ▽至田湊美(同) ▽大島歩未(同)

いて交流を深めることで平和の大切さを実感してもららう綾部発の試みで、昨年の和歌山県高野町に於ける開催で10回目を数える。一つの節目としてこの間の現地情勢の変化も把握した上で、今後の事業の継続を確

趣は異なるが本市の市民憲章の第一項に「平和をねがい、祈りのあるまちにしようと」ある。物の豊かさとともに心の豊かさ、そして平和こそがまちづくりの大前提―。聖都を一望するオリーブ山に立つと敬虔な気も募り、一為政者として我が故郷の安寧に身を捧げ
る意を強くした。

94



善聞語錄

認し合つた。

市安全・安心のまちづくり



原子力災害に備えて 約3700人が参加し訓練実施



1 避難者を乗せたバスがゲートモニタを通過
2 モニタをくぐり体表面の放射線量を測定
3 スクリーニング検査を受ける住民
4 車両除染プール内でのバス除染作業
5 初めて行われたヘリコプターでの輸送訓練。宮津市の一部の住民が本市まで避難した
6 奥上林公民館では、放射線防護対策設備の稼働訓練を実施
7 市立病院では、原子力災害時の医療措置訓練を行った
8 陸上自衛隊によるカレーライスの炊き出し訓練も

VOICE **日ごろから災害に備えたい**

今日は事前に持ち出すものを準備できましたが、災害はいつどこで起こるか分かりません。日ごろから非常持ち出し品や避難手順の確認などをを行い、万一に備えることが大切だと感じました。

訓練に参加した
川北育子さん(五津合町)

府と本市を含む北部2市2町は11月12日、里町の中丹文化会館をメイン会場に京都府原子力総合防災訓練を行いました。訓練は、地震により福井県の大飯原発で事故が発生したと想定。同原発UPZ圏内の住民約3400人と約40の関係機関約300人が参加し、避難の手順などを確認しました。市内からは、中上林地区9自治会の住民約120人が避難。バスで中央公民館に向かい、放射線量を測定するスクリーニング検査や除染作業を体験しました。

避難手順を確認



(仮称)新市民センターの整備工事始まる

新たな市民センターの整備工事が始まり、11月3日には工事関係者による安全祈願祭＝写真＝が西町三丁目で行われました。総事業費は約21億円で、平成31年度のオープンを目指しています。新施設は鉄筋コンクリート造3階建て、床面積4,660平方㍍で、現在の市民センターと武道館の機能を集約。災害時の避難施設として、全館に空調設備も備えます。

あやバスの時刻をデジタルでお知らせ

市は、あやバス利用者の利便性向上のため、12月4日から電子看板「デジタルサイネージ」の運用を開始。全路線が乗り入れる観光案内所＝写真＝と市立病院に設置しています。看板には路線ごとの行き先や出発時刻、経由地、次便出発時刻が表示されます。



あやバス



中国・常熟市友好代表団が来綾

本市の友好都市である中国・常熟市の友好代表団（陸建達・中国人民政府政治協商會議常熟市委員会副主席など6人）が来綾。11月29日に市役所を訪れたほか、30日には市立病院など市内を視察しました。鷹栖町の東綾小・中一貫校では、“きらきら星”の演奏をしていた小学1年生＝写真＝と「你好（こんにちは）」などと言葉を交わす場面もありました。

くらしを支えた蚕糸業展 —1,300人が来場

くらしを支えた蚕糸業展（同実行委員会主催）が、11月11日から19日にかけて、青野町のグンゼ博物苑で開催され、約1,300人が来場しました。会場には、養蚕農家が使っていた農具や民具、生きた蚕、繭から糸を紡ぐ織糸機＝写真＝などが展示され、使い方などを関係者が熱心に解説する姿も見られました。また初日には、グンゼ本館講堂で京都工芸繊維大学の森肇副学長が講演。遺伝子組み換えによる蚕の新たな使い方等が紹介されました。





山家城址公園（広瀬町）

江戸時代に山家地区を治めた近畿最古の大名・谷藩の陣屋跡。建物は明治初期に消失したが、石垣や土壘、空堀は今もなお築城時のまま残っている。平成4年、市は山門があった場所に山家城址館を整備。2階は山家郷土歴史資料館として使われている。

サクラやモミジの名所として府内外から多くの人が訪れる山家城址公園。山家地区の観光資源として、地域の皆さんによる整備が進んでいます。



広がりを見せる観光整備

資料の展示整備に合わせ、山家歴史の会（有道大作会長）は、城址館の看板を新調しました。また、地元住民やボラ

約1年半かけて実施。従来難多に保管されていた資料について、▽目録の作成▽時代ごとの分類▽解説の添付▽古文書の現代文訳――などをするこにより、系統立った分かりやすい展示となりました。



11月3日に行われた看板の除幕式

利用案内

歴史資料館の見学は、事前に電話予約必要
山家公民館☎(46)0345

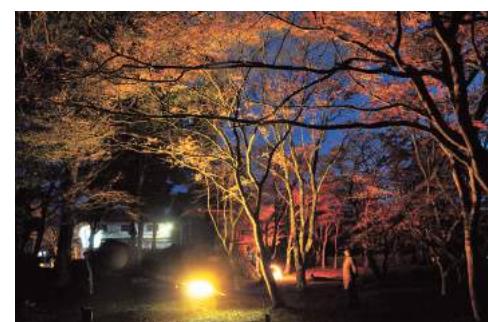
家の自慢」と笑顔。イベント等をきっかけに、多くの人が地域の魅力を知つてもらうのが願いだそうです。

ンティア等が公園北側の土壠や空堀付近の竹伐採に取り組むなど、公園周辺の整備が進められています。さらには、やまが元気プロジェクト委員会（谷口和紀委員長）が本年度、同公園で山家もみじまりを初開催。地域活性化の取り組みが広がっています。資料整備の委員である林国治公民館主事は「歴史資料館は、清掃をはじめ展示整備など地元の皆さんの協力で運営しており、それがほかにはない山



山家歴史の会をはじめ、多くの皆さんの協力で整備し、見やすく分かりやすい展示になりました。今後も、提供いただいた大切な資料を整備・展示し、引き継いでいきます。

ぜひ一度訪れていただき、山家の歴史を学ぶとともに美しい自然も体感してもらいたいです。



11月17日～19日の期間中、約500人が来場したもみじまつり。ライトアップも行われた

「住んでよかったです 住みたくなる…綾部発 情報すくらんぶる」は、綾部市の施策・制度・イベント・名所・活躍する個人や団体…など、綾部のホットな市政情報や旬の話題を幅広くお届けします。

綾部発
すくらんぶる
情報
（45）
住んでよかったです
みたくなる…